

事務局だより

平成31年1月号（第263号）

公益社団法人府中町シルバー人材センター

府中町浜田三丁目9番2号

電話 285-0161



会員数（平成31年 1月 1日現在）

男性 255名 女性 134名 計 389名



謹んで年頭のお慶びを 申しあげます。

本年もよろしくお願ひします。



今年も、玄関横の門松は、永井理事、吉村互助会会長に飾っていただきました。

10月18日（木） 府中北交流センター火災訓練の実施

10月18日に府中北交流センターで、集会所管理人、児童センターハッピーズ、町営住宅入居者、集会所・児童センター利用者が参加しての火災訓練が行われました。

この訓練の目的は、避難経路の確認、火災発生時の対応で、実践さながらの訓練でした。その後、消防署職員の指導による消火器を用いての消火訓練を行いました。



<消火訓練の様子>



<避難訓練の様子>

10月19日（金）・11月16日（金）・12月21日（金） 入会説明会

シルバー人材センターの事業を正しくご理解いただくために、入会説明会を、シルバーワークプラザ研修室で行いました。

3回の入会説明会には、8名の方が来られ、5名（正会員4名、特別会員1名）の方が入会されました。

※ 会員の拡大

シルバー人材センターの地域における存在意識を高め、積極的な事業運営を行うためには、会員の拡大が重要であることから、平成26年度に全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）が平成29年度までの間に会員を100万人にするという「会員100万人達成計画」を策定しましたが、達成できていません。（平成29年度末 713,746人）今回、新たに平成30年度～36年度を期間とした「第2次会員100万人達成計画」が策定され、計画の中間期である平成32年度までの期間、「中間目標80万人」となっています。（当センターは379人から441人）

計画期間の最終年度となる平成36年度、当センターの目標会員数は553人となっています。目標を達成するためにも、会員の皆さまによる「一人一会員入会運動」にご協力をお願いします。

10月20日（土） 「シルバーの日」 ボランティア活動を実施

シルバー人材センター周辺の道路清掃のボランティア活動に、52名（事務局を含む）の方が参加されました。

2班（センターから中央小学校方面とセンターから鶴崎公園方面）に分かれ、道路の清掃活動（ゴミ拾い）を行いました。

今年も、10月19日（予定）がシルバーの日となりますので、多くの参加者をお待ちしています。



＜ボランティア活動参加者で記念撮影 シルバー人材センター前＞



＜ボランティア活動状況＞

※ 「シルバーの日」

毎年10月は、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が定めた「事業普及啓発促進月間」、第三土曜日を「シルバーの日」と設定して、一斉ボランティア活動を実施しています。

10月27日(土)～28日(日) 第16回 つばき祭り

10月27日(土)、28日(日)の2日間、空城山公園でつばき祭りが開催されました。センターからは、焼き芋の販売、射的、ヨーヨーつりなどを出店しました。前回の祭りは両日とも雨にたたられ、焼き芋の販売等は散々な結果でしたが、今回は晴天に恵まれ、美味しかったとのご意見をいただき、大好評でした。また、例年どおりチラシ等を配布し、シルバー事業の普及啓発活動に努めました。

出店の準備から販売、後片付けなど多くの会員の方々にご協力をいただきました。どうも有難うございました。



<シルバー人材センター出店風景>

11月8日(木) 第2回適正就業審査会

昨年の事務局だよりでお知らせしましたように、定期監査において、「府中町シルバー人材センター適正就業基準要綱における適正就業審査会が機能していない。そのことを含め、要綱の見直しをしていただきたい」とのご指摘を受けました。

このことから、理事5名、会員3名で構成する審査会を設置し、県内の各シルバー人材センターの要綱を参考に、当センター適正就業基準要綱の見直しを進めています。

11月11日(日) 互助会主催の「親睦日帰り旅行兼グランドゴルフ大会」

25名(男18名、女7名)の参加により、互助会親睦旅行(芸北オークガーデン)兼グランドゴルフ大会を行いました。



<参加者全員で>

優勝は、松浦 タミエ会員、準優勝は柴田 敏子会員、第3位は三浦 捧会員
BB賞は森 博子会員でした。事務局から参加した住友主事は第14位でした。本人も不本意な結果に終わったようで、今年は、練習を重ね、優勝を目指すとっていました。奮起を期待しましょう。

11月20日（火）～21日（水） 中国ブロック役職員研修会

11月20日から21日に島根県松江市のくにびきメッセで研修会が開催され、当センターから山代次長が出席しました。

厚生労働省松岡課長補佐、全シ協の村木専務理事から「シルバー会員100万人計画を達成するためのポイントは、シルバー人材センターの会員の働き方を会員が適正就業について理解したうえで、口コミの入会促進を実施することが大きなポイントとなってくる」ということでした。

翌日は、中国五県の各県代表者から会員100万人達成できる取組みの計画をパネルディスカッション形式で紹介されました。高齢者の健康推進を図りながら現役世代を下支える貴重な組織としてシルバー事業に寄せられる期待に身が引き締まる思いの研修会でした。

11月23日（金） 第15回高齢者交通安全自転車大会

第15回高齢者交通安全自転車大会（趣旨：自転車競技を通じて、高齢者が正しい交通ルールを認識し、自転車運転技能を向上することにより交通事故の防止を図る。）が広島市中小企業会館で、県内から65歳以上の高齢者99人（33チーム）が参加して行われま

した。当センターから、監督として事務局の大出主任主事、選手として、渡会員、高野会員、米岡会員、梶川会員、平岡会員が出場しました。事務局職員から大きな声援もあり、10位（前は13位）という結果でした。出場選手は、来年こそは優勝を目指すという決意を新たにされていました。



<自転車大会の様子>

12月4日（火） 安全部会による第2回安全巡回指導の実施

平成30年度第2回安全部会を開催し、安全巡回指導を実施しました。巡回場所は、福寿館の管内清掃業務とボイラー管理業務でした。

安全巡回の講評として、ボイラー管理業務については、「緊急連絡網の設置と名札を着用するように」と指導しました。管内清掃業務については、指摘事項はありませんでした。



<安全巡回指導の様子>

12月20日（木） 全国シルバー人材センター事業協会による「集合指導」に出席

12月20日に広島グランドインテリジェントホテルにおいて、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会による集合指導が行われ、事務局から谷崎事務局長、住友主事が出席しました。

今回の集合指導は、広島県内の各センターにおける適正就業に対する取組み状況、第2次会員100万人達成計画に基づく会員拡大計画（7か年計画）策定状況等をテーマとしての意見交換でした。

「当センターの会員100万人達成計画については、現在、第三次中期計画（平成27年度から31年度）を策定しており、今年中に策定する予定である第4次中期計画の中で会員100万人計画を位置づけて行きたい。今後の具体的な取組みとしては、役・職員自らが地域の方に声をかけ、声掛けの成果を可視化する。また、会員一人一人勧誘運動の仕組み作りの構築を図って行きたい」と谷崎事務局長が報告しました。

12月21日（金） 第3回理事会

平成30年度第3回理事会をシルバーワークプラザで開催しました。

内容は、議案として

- ・平成30年度収支補正予算（第2回）について
 - ・公益社団法人府中町シルバー人材センター職員給与規程の一部改正について
- すべて原案のとおり可決・承認されました。

報告事項として

- ・理事長、副理事長及び常務理事の職務執行状況について
- ・定期監査報告（8月～9月分）について
- ・平成30年度安全巡回指導（第1回・第2回）の報告について

前回の事務局だよりで、7月の豪雨災害による「府中町への豪雨災害対策支援金」の寄附をお願いしたところ、23,840円の寄附があり、1月7日に府中町に送金しました。ご協力ありがとうございました。

1月11日（金） 平成30年度事業計画に基づく拠点個別指導（当センターに）

全国シルバー人材センター事業協会が定める「指導事業実施要綱」に基づいて、広島県シルバー人材センター連合会が県内活動拠点（各シルバー人材センター）を対象に指導・援助を行うものです。実施を通じて把握した先進的・好事例となる事案については、他の活動拠点に対して情報提供し、県内での共有化に努められるものです。

1月18日（金） 入会説明会の開催予定

シルバー人材センターの事業内容を正しくご理解いただくために、入会説明会をシルバーワークプラザ研修室で開催する予定です。

2月6日（水） 平成30年度 第1回総務部会の開催予定

平成30年度第1回総務部会を2月6日に開催する予定です。

確定申告



会員が就業して人材センターから支払われる「配分金」は、所得税法上「雑所得」とされていますから、確定申告をする必要があります。

当センター事務局が1月下旬ごろ、平成30年分の「配分金支払証明書」を発行しますので、確定申告期限内に申告を行ってください。

- 確定申告に関する問い合わせ：海田税務署：海田町大正町1-13 電話082-823-2131
- 確定申告が不要になる場合があります。

①公的年金等の収入金額の合計額が、400万円以下

②公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が、20万円以下

↳ 例えば、給与の収入金額が85万円以下の場合が該当します。

【85万円（収入金額）－65万円（給与所得控除）＝20万円（給与所得金額）】

上記①と②の両方に該当する場合、所得税及び復興特別所得税の確定申告（提出・納税）が不要です。

ただし、①と②の両方に該当する場合でも、株式等の損失を翌年に繰り越す場合や所得税及び復興特別所得税の還付を受けられる方は、確定申告書の提出が必要です。

ご注意 所得税及び復興特別所得税の確定申告が不要でも、住民税の申告が必要になる場合があります。

詳しいことは、最寄りの税務署又は府中町役場に相談・問合せください。

海田税務署 電話082-823-2131、役場税務課 082-286-3143

編集後記

新年、おめでとうございます。

平成最後の元日となりましたが、会員の皆さんは休暇を利用しての旅行など、家族団らんでゆっくり過ごされたことと思います。

昨年は、全国各地で災害が発生し、7月には西日本を中心とした豪雨により、府中町では、榎川の氾濫により甚大な被害が発生しました。災害の発生時には、命を守る行動をとることの大切さを痛感する年でした。

今年こそは、平穏な年であるとともに、会員やご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

シルバー人材センターの発展のため、会員・役職員のご協力をよろしくお願いいたします。

事務局職員一同

「安全就業スローガン」の募集について

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」）では、毎年7月を「シルバー人材センター事業安全・適正就業強化月間」と定め、シルバー人材センター事業における会員の就業中と就業途上の事故の撲滅を目指して、各種の取り組みが行われています。

この一環として、当センターでも、会員（役職員含む）の皆様から次のとおり安全スローガンを募集します。自分のため家族のため皆のために安全就業は大変重要なことです。ふるってご応募ください。

1 作品内容

会員の安全就業に係る意識の高揚を図り、就業中及び就業途上の事故防止活動の促進を図る内容のもの。

2 応募資格

当センターの会員及び役職員

3 応募要件

- (1) 自作のもので未発表のもの
- (2) 一人2点（作品）まで

4 応募方法

応募用紙（裏面）又は任意の用紙で事務局まで （はがき又は封書でも可）

5 締切日

平成31年2月28日（木）（郵送の場合は当日消印有効）

6 参考

- ◎ 平成30年度全国シルバー人材センター事業協会
安全就業スローガン 最優秀作品
「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」

- ◎ 過去の当センター表彰作品

- 平成26年度 「高齢の動作の衰え心して たゆまず進める 安全作業」
「シルバー作業 相互注意で 安全確保」

- 平成27年度 「明るく 笑顔で 安全作業」
「安全は気くばり目くばり支えあい」

- 平成28年度 「あわてずに 安全作業 確実に」
「慣れた事こそ慎重に 手順の確認いま一度」

- 平成29年度 「慣れた作業も一呼吸 正しい手順で安全作業」
「気を抜くな なれていても ひそむ事故」

- 平成30年度 「気を抜くな！全ての作業は安全第一！！」
「安全は 指さし確認 もう一度」

※詳しくは事務局まで

平成31年度安全就業スローガン

応募用紙

作品1 [ふ り が な]

作品2 [ふ り が な]

応募者

お名前 _____

ご住所 安芸郡府中町 _____

連絡先電話番号 (—)

※応募締切日は平成31年2月28日(木) (郵送の場合は当日消印有効)